



エコ・ファーストの約束 (更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成24年3月22日

環境大臣 細野 豪志 殿

全日本空輸株式会社
代表取締役社長

伊東 信一郎

全日本空輸株式会社は、安全を経営の基盤とする航空運送事業者としての社会的責任を踏まえ、世界の「環境リーディング・エアライン」として、持続可能な社会の形成に積極的に貢献するため、以下の取組をすすめてまいります。

1 新機材の導入促進などにより、地球温暖化の防止に向けて積極的に取り組みます。

- ◆ ボーイング787型機、次世代リージョナルジェットMRJなど新世代機材を、世界で最初に導入し、活用するなど、環境保全新技術を世界に先駆けて取り入れており、今後も継続・促進します。
- ◆ 世界の航空業界で初めて設定したCO₂「総排出量目標」をより野心的に更新し、2012年度～2020年度の国内線CO₂総排出量を年平均440万トン以内に抑制します。
- ◆ 国内線・国際線の有償輸送トンキロあたりCO₂排出量を、2020年度において2005年度対比で20%削減します。
- ◆ 全事業所計で、原単位あたり年1%のエネルギーを削減します。
- ◆ バイオ燃料をはじめとする代替航空燃料の使用開始を目指します。
- ◆ 環境負荷の低い運航・飛行訓練方式や地上車両・施設を積極的に導入します。

2 資源循環型社会の実現に貢献します。

- ◆ 機内で使用する雑誌類の50%を目標にANAグループ内での「クローズド・リサイクル」にまわすなど、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の更なる推進に努めます。
- ◆ 営業用紙消費量の削減を徹底します。

3 「人と地球を考える」をテーマに、「地球環境を大切に作る心の輪」を多くの人に広げます。

- ◆ ANAの特徴を生かした国内空港周辺での「森づくり」活動や、「チーム美らサンゴ」(サンゴ再生プロジェクト)への支援など、地域社会での環境社会貢献活動へ積極的に参画します。
- ◆ 東日本大震災で被害にあった東北地方「海岸林再生プロジェクト」への支援活動に取り組みます。
- ◆ エコ・フライト **e-flight** を始めとした、「お客様とともに地球環境を考える」取り組みを拡充します。

全日本空輸株式会社は、上記取組の進捗状況と結果について、環境省へ報告するとともに、**アニュアルレポート**で定期的に公表します。

